



◀ココがイチオシ▶

- 快適な乗り心地
- 最初の車高調としてもオススメ
- ドライブからサーキットまで OK

装着走行
Impression

□ ダウン&レートアップされているにもかかわらず、突き上げが気にならずしなやかに走ってくれるところが好感触。縁石に乗り上げた際にも、瞬間的な入力をスツといましてくれる感覚がとにかく強い。そんな初期の動きがありながらも、旋回中にGが溜まるような状況ではしっかりとした感覚があり、街乗り重視のsprungとはいえ走りも楽しめる仕様になっているところが面白い。今回はクラブマン用にリアのsprungレート若干高めているとのことだったが、そのおかげで旋回性が損なわれていないところもポイントのひとつ。立ち上がり時のトラクションもデフが入っていない割にはしっかり。走りばかりでなく、快適性も欲しい人にオススメ。



Impression by
橋本洋平氏

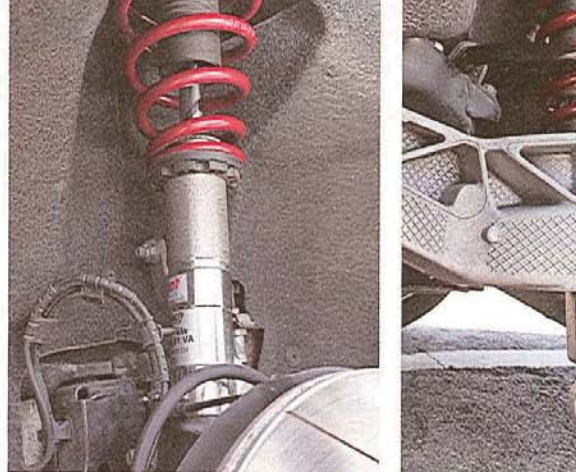
快適性も譲れないオーナーにオススメ

□ ールは大きめなんだけど、それで動きが悪いというわけじゃないところがこの足のいいところだね。ロールした状況で縁石にひっかけてみても、イヤな動きは一切ない。これならどんな路面状況でも安心して走ることができるんじゃないかな。コンセプトとしては街乗り重視でミニサーキットレベルでもサーキットはあまりオススメしないということだったけど、初心者から中級者くらいまでならこの足回りでも十分に満足できるレベル。動きも読みやすいから、丁寧に運転していけば何も問題はないんじゃないかな。こういう動きの大きい足回りをしっかりと使い切ることが出来るように練習するのもいいと思う。動きをきちんと勉強できる足回りだね。



Impression by
菊地 靖氏

路面を選ばない安心感が魅力的だね



メカニカル
解説

Pro Street S
プロストリート S

アイバツハが満を持してデビューさせた車高調整式サスペンション「プロストリート S」は名称から分かるように、乗り心地重視仕様だ。F1 や WRC など代表される、世界トップクラスで得た経験がフィードバックされており、シッカリと粘り、理想的なフィーリングを実現している。スプリングは、リヤが直巻きとなっており、レートも柔らかめだがミニ Cooper S 走行くらいなら難なくこなす懐の深さ。闇雲にレートアップをやるのではなく、ダンパーストローク/サスペンションの重心などから、最適なデータを算出したという。コンセプト「コンテナー」の名に恥じない、高い路面追従性でコンクリート路面でもドライバーに安心感を与えてくれる。スプリングのお家芸である冷間成形を採用しており、BMW ミニ用として R56 / R55、それぞれのモデルをラインナップ。



相性がイイのは、やはり S タイヤではなくラジアルタイヤ。不快な突き上げを解消し、高速域では安定したハンドリングを味わえる。

インプレ走行したデモカー紹介



DEMOCA

- 型式 MM11
- エンジン・吸気
- 駆動系 ノー
- ブレーキ系
- サスペンション
- エアロ系
- タイヤ&ホイール

パワー系はマフラーのみ、ブレーキはディスクのパッド&ローターというライトチューンだ。スプリングレートはラジアルタイヤとのマッチングを考え、フロント 5kg/リヤ 4kgに設定。決してスポーツ走行に振った仕様ではないが、ミニサーキットでも楽しく遊べる。

Text: Kei Sato, Yohei Hashimoto Photo: Makoto Ino